

かわ  
川

町  
西

ちょう

## 町域に新沢千塚古墳群

市南西部の川西町に、同町域の約四分の一を占める広大な国指定の史跡・新沢千塚（にいざわせんづか）古墳群があります。

古墳の集まる群集墳としては、全国で最も早い四世紀末に造り始められ、六〇〇基を超える大小さまざまな古墳が、七世紀まで造り続けられました。

昭和三七―四一年の発掘調査（約一三〇基）で遠くペルシャから渡ってきたガラス器や金製装身具（一二六号墳）に武器や鏡（一三九号墳）など、目を見張る多数の貴重な品々が出土しました。古墳群を造ったのは、古代豪族の相伴氏か渡来系の漢（あや）氏と推定されています。

古墳群一帯は、古墳の間を遊歩道が巡る史跡公園に整備され、出土品などを常設展示する千塚資料館がその一角に建ち、古代史に関心のある人びとなどが全国から訪れにぎわっています。

地元川西町では毎年の四月第一日曜日、古墳に葬られた人びとの慰霊と町内の無病息災を願う「新沢千塚まつり」を開き、貴重な文化遺産の継承を誓う集まりとしています。

祖先を大切に考える方が古代から古墳群のある、この地に根付いてきたのかも知れません。